



楓

ふうえん

園

特集

東洋英和の新学期

入学式の式辞から —小学部—
中学部長就任・退任挨拶
東洋英和幼稚園長就任挨拶
学院人事

- 5 NEWS 大学・大学院／中高部／小学部／
東洋英和幼稚園／かえで幼稚園
- 10 行事報告 12月～3月
- 11 この人に聞く 戸川久美
- 12 聖書の言葉／史料室レター
- 13 2012年度 行事予定
- 15 英和星空探訪／同窓会より／お知らせ

TOYO EIWA JOGAKUIN
Public Relations Report



小学部入学式の日
満開の桜のもと、80名の新小学1年生を喜びとともに迎えました

東洋英和の新学期

あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。
キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、
つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、
あなたがたも愛によって歩みなさい。

エフェソの信徒への手紙 第五章一―二節

二〇二二年度がスタートいたしました。
東洋英和女学院では伝統を守りつつも、
これからの大きな時代の変化に柔軟に対応できるよう
歩みを進めてまいります。
今年度もご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

入学式の式辞から ―小学部― 神様からのプレゼント



山本 香織
小学部長

今年の冬は寒くて長かったので桜が遅れて、ちょうど今日満開になりました。学校じゅうの喜びの気持ちを表しているようです。八〇人の妹たちが来る日を、二年生から六年生のお姉さんたちは飾りつけやお掃除をして、楽しみに待っていました。もちろん皆さんも、今日をとても楽しみにしていました。おうちの人も、それからおじいさまやおばあさまも。本当に多くの人たちが喜んでいて、ということなんです。実はもうお一人、今日をすごく喜んでいらっしゃる方がいるのに、気が付く人はあまりいません。皆さんに「おめでとう」って声を掛けたり、お祝いをくださったりしないからです。その方は神様です。でも神様はもうプレゼントをくださっているのですよ。

神様は今から六年前、皆さんのおうちに一人のかわいい女の子をくださいました。こんなに素晴らしいプレゼントはありません。あなたは神様から命をいただいたので、す。それから、ほかにももつともつと。住むおうち、優しい家族、たくさんのお食べ物、着る物、遊ぶ物、先生やお友だちをいただきました。それだけではありません。神様はいつも見守っていてくださいました。そして今度は東洋英和の一年生になるようになって、皆さんを呼んでくださいました。どうして神様はそんなにしてください、今日は誰よりも喜んでいらつしやるのでしょうか。その答えは簡単です。皆さんのことが大好きだからです。皆さんは神様から命をいただいた、神様の大切な子どもなのです。その神様が今から二二八年前に、東京の六本木に学校をつくろうと思ってお建てになったのが東洋英和です。その学校の女の子には心から神様と周りの人たちとを愛する子になってもらいたい……。神様はそうお考えになりました。東洋英和では、その神様のお心を大切にしています。神様が私のことを大好き、ということに気が付いていなかった人も、これから一緒にお

勉強していきましょうね。
明日から毎日元気に学校へ来てください。心配なことがあっても大丈夫。お姉さんや先生たちに聞きましょう。何より神様が見ていてくださいます。これはとてもうれしいことなのです。これから小学生になると、楽しいことだけでなく嫌なこと、つらいことも起きるでしょう。おうちの人も、先生やお友達も分かってくれない、なんてことがあるかもしれません。でも神様だけは皆さんのことを全部ご存じです。人間の力で見ることはできない神様だから、人間の力で見ることはできないことも見えるのです。だから皆さんは一人ぼっちにはなりません。そんな神様との毎日が明日から始まります。楽しみですね。
保護者の皆さま、本日はお嬢さまのご入学おめでとうございます。教職員一同責任を持って小学部を巣立つ日までこの八〇名の教育に当たります。ご一緒に力を合わせてまいります。
(抜粋)

新中学部長就任挨拶

共に作る新しい時代



露木 美奈子

四月より中学部長に就任いたしました。責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

来し方を振り返りますと、東洋英和は二人の姉たちと共に小学部から高等部まで通った母校であり、三人の子どもを育てる間は離れていた時期もございましたが、長女が在学中は保護者としても関わらせていただいで、私の人生の三分の二をこの学院で過ごしてまいりました。

私自身は微力でございますが、教員の皆さまをはじめ職員皆さま、保護者の皆さま、生徒の皆さま、そして諸先輩のお支えにより、そして何よりも学院の主であられる神様のお導きにより約束の地へと進めることを信じて喜びを持って進んでまいりたいと思っております。

今までは英語科の教師として生徒や学校と関わってまいりましたが、これからは中学部全体をまずは見て聞いて話し合っ、新しい時代の東洋英和中学部を皆さまと共に作ってまいりたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

前中学部長退任挨拶

10年後に思い出すことは…



鈴木 齊

将来、退職して一〇年が過ぎたころ、呆けてきた記憶に何が残っているだろうと考えてみるごうがあります。

鳥居坂、於多福坂、芋洗坂、永坂、潮見坂などの坂……。坂を登れば目に飛び込んできた異国ムード一杯のスパンニッシュ調の旧校舎。あの素晴らしい校舎にいた日々を誇り高く思い出すのらうなあ……。正門には、生徒たちを見届けてきたという風格の大きな樺。堅い木肌を手を当てると力が湧いた。教師になつて間もないころ、続くように亡くなった中学二年の二人の少女の親御さんが植樹した楓。少女に代わつてしっかり根を張り、まつすぐに成長した。樺と楓を思い出して、お礼を言いたい気持ちになるらうなあ……。

素直で明るくて、何事にも一生懸命で、一人一人が眩しいくらい輝いていた十代の娘たちと共にいた私。今でなく、一〇年も二〇年も先のあの子らが、自分の人生に感謝して生きられるために、今何をしてあげられるかと崇高な思いで教育に励んでいる先生方の中にいた私。生徒と共に育てられていた。今、感謝に溢れています。ありがとうございました。

新東洋英和幼稚園長就任挨拶

すべての賜物たまものが活かされるように



鈴木 法子

「学院に通う子女の弟妹や近隣の幼児にキリスト教保育を」との保護者の方々の切なる願いを受け、東洋英和幼稚園は九八年前に誕生いたしました。保護者の方々の我が子にとどまることのない広い親心と、学院への揺るぎなき信頼。そのような思いを受け入れ実現される初代園長のブラックモア先生の慧眼と信仰に支えられた実行力。これらの力は時代を超えてもお幼稚園に息づいていると実感し、心を動かされた副園長としての昨年度でした。

療養のため園長を辞された森眞理先生のあとに再度園長に就任された大伴栄子先生のとをを引き継いで、今年度より幼稚園長としてご奉仕させていただくこととなりました。幼な子の心と体と魂の成長のために保護者の方々と学びあい、さらには卒業生の方々も交えて祈りあつていきたいと思っております。子どもたち、保護者の方々、教職員―すべての賜物が活かされ、神への感謝と喜びに溢れた幼稚園生活を目指してまいります。よろしくお願い申し上げます。

(2012.4.1付)

教育職員

大学



人間科学部
人間科学科
専任講師
(社会心理学)
松見(渡部) 麻美



国際社会学部
国際社会学科
准教授(国際社会学)
上枝(石井) 香世子



国際社会学部 専任講師
国際社会学科
(英語教育法・応用言語学)
**ポール・
アンダーウッド**



人間科学部
人間科学科
任期制嘱託講師
(心理相談室実習指導)
中村麻里子



人間科学部
保育子ども学科
任期制嘱託講師
(実習指導)
桑原志津香



中高部



教諭(英語科)
織田 千晴



教諭(英語科)
鶴田 直子



教諭(英語科)
**ハリエット・
ボクソール**



養護教諭
吉越 聖子



大学付属かえで幼稚園
教諭(担任)
杉本 美緒



教諭(担任)
藤野 佳代

法人役員

退任

(2012.3.31付)

理事・評議員 **デービッド W. ラッカム**

評議員

評議員 **鈴木 齊**

評議員

評議員 **大伴 栄子**

新任

(2011.5.27付)

評議員 **柳沢 昌義**

評議員

評議員 **鈴木 法子**

評議員

評議員 **北崎 勝彦**

二〇一二年 各部代表者

理事長・院長

大学学長・副院長

副院長

高等部長

中学部長

小学部長

東洋英和幼稚園長

大学付属かえで幼稚園長

法人事務局長

池田 守男

村上陽一郎

吾妻 國年

小林 敏

露木美奈子

山本 香織

鈴木 法子

森高ホサナ

西田 哲也

二〇一一年度 長野賞

二五年間院長を務められた長野彌先生の功績を記念して、学業、人物ともに優秀な人や学習、研究、奉仕活動に極めて優れた業績をあげた人、またはグループに卒業時に長野賞を授与することになっていきます。二〇一一年度の卒業式・学位授与式では以下の方々に授与されました。

大学院 国際協力研究科 **松本 栄子**

大学 人間科学部人間科学科 **大和明日香**

人間科学部人間福祉学科 **宮地佑莉香**

国際社会学部国際社会学科 **月下 環**

高等部 **堀内奈緒子**

訃報 — 心より哀悼の意を表します —

小野塚昭子氏

元技能職員

(小学部給食・短期大学食堂)

二〇〇九年十一月六日

松坂 和夫氏

元大学教授・元特任教授

二〇一二年一月四日

田島 信之氏

元院長・元短期大学学長

元短期大学付属かえで幼稚園長

元常任理事・元常務理事・元評議員

二〇一二年一月三十一日

恵良ヨシコ氏

元中高部技能職員(用務員)

二〇一二年二月三日

逸見 謙三氏

元大学教授・名誉教授

二〇一二年二月四日

自分らしさを見つめた映画祭でのインターンシップ

大学

今回、「メディア・インターンシップ」科目を通じ、東京国際映画祭のアテン
ドインターン（映画祭と東洋英和のパートナーシップのもとで展開している
インターン）を昨年に経験した、国際社会学部国際社会学科の三年生、小澤
佳奈さんと山口ひとみさんにインタビューをしました。

聞き手 ● 国際社会学部国際コミュニケーション学科 専任講師
山本有香

山本 このインターンシップに参加
した理由について教えてください。

小澤 映画と英語が好きで、実践の
場で英語を使用し、好きな映画にも
携われると思い参加しました。

山口 アクティブに動きまわる仕事
が好きなので、イベント業務に興味
がありました。

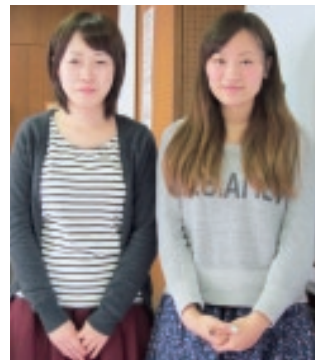
山本 インターンシップでは、どの
ような業務を経験しましたか。

小澤 & 山口 映画祭期間中の外国から
の映画スタッフのアテンドが主です。
ホテルから会場への送迎、レセプショ
ンや会見等がスムーズに実施できる
ようにお手伝いをしました。

山本 このインターンシップを通し
て、何を学びましたか。

小澤 英語の実践、コミュニケーション
の難しさを感じました。また、ど
んなに忙しい時でも、事務局のスタッ
フが私たちに向け「お疲れさま」と優
しく声をかけてくださり、社会人の
凄さを知ることができました。

山口 事務局でいろいろな業務を抱
えながらもいつも穏やかに、ピリピ



左から山口ひとみさん、小澤佳奈さん

リせず私たち一人一人に接してくだ
さり、社会人の責任感の強さを垣間
見ることができました。

山本 今後就職活動に向けてどのよ
うな点で、このインターンシップの
経験を生かしていきたいですか。

小澤 インターンシップの経験を日
誌につけたのですが、それに対して
スタッフの方々が個別にその人の良
さを書いてくださり、客観的に自分
について見つめることができました。
そうした点をうまく就職活動で引き
出せるようにしたいです。

山口 評価して下さった点をア
ピールしていきたいです。後輩にも
是非、このインターンシップを経験
してもらいたいと思います。

同窓生の方々へ “もう一度”学んでみませんか!!

大学院

国際社会学部 国際社会学科 教授

中岡 望

東洋英和ファミリーの中で、おそ
らく最も認知度が低いのは大学院で
はないかと思います。一九九三年に
社会人を対象に二研究科で開設され
ました。九五年に第一期生が修了し、
昨年九月までに累計で六四七名の修
了生を送り出しています。開学当時、
社会人向けの大学院はあまりなく、
企業や役所の第一線で活躍中の社会
人が多く入学したと聞いています。

その後、他の大学でも社会人向け
大学院が相次いで開設、競争が激し

くなってきました。人間科学研究科
は応募者が多いのですが、この数年、
国際協力研究科はやや減少傾向にあ
ります。私は昨年の四月に研究科主
任に就任し、滝澤三郎研究科長と一
緒に大学院をもっと知ってもらい学
生の数を増やす方法を検討してきま
した。

そうした話し合いを続ける中から、
宣伝ビラを作成し、「東洋英和楓の会」
の会報誌に同封するという案が出て
きました。考えてみれば、東洋英和
の同窓生の数は累計すれば膨大な数
に達しています。特に短期大学卒業
生は数も多く、社会で活躍中の人も、
あるいは子育てが終わりもう一度勉
強してみたいと考えている人もいる
のではないかと思います。そうした
同窓生のニーズに応えるのも、大学
院の役割です。

こうした狙いから出来上がったの
が「六本木キャンパスで“もう一度”学
んでみませんか!!」と題するビラ（写
真）です。ビラの中で説明しました
が、短大卒でも資格認定を受ければ
大学院を受験できるのです。家事や
仕事をしながら学ぶ仕組みもありま
す。既にNGO代表で活躍する短大
卒業生から問い合わせが来ています。
皆さんも、六本木に戻り、「修士号」
取得を目指して勉強してみませんか。
第二の青春の出発になるかも……。



老人ホームから生涯学習センターに通った「クラスの人気者 依田さん」

生涯学習センター

本学名誉教授・生涯学習センター講師

新富英雄

「英語再入門」クラスの人気者、依田包雄さんの突然の訃報に、私は「まさか」と信じられない思いを発すると同時に愕然とした。春学期からの受講を楽しみにされていたのに。

正月は白楽にあるご自宅でお過ごしになり、いつものように話好きの依田さんを中心に団欒を楽しんでおられたとのこと。しかし急に容態がおかしくなり入院を余儀なくされ、一月二九日帰らぬ人となられたそうである。



依田包雄さん(中央)。付き添いのご長女と一緒に

依田さんの日常の生活の中心は大学キャンパスの正門に程近い特別介護老人ホームであった。クラスのある火曜日にはいつも長女の方が施設に迎えに行き、車椅子で教室への送迎をなさっていた。授業中は依田さんの隣にお座りになり、時にはノートを取ったり指示されたページをめくるお手伝いをされるなど、さすが親子と思わせる心づかいが見られた。娘さんが施設に向かわれるころには一番お気に入りのスーツにネクタイ、それにベレー帽をかぶり、出発準備万端の思いで待つておられたそうである。

クラスに入つて来られると、受講生の皆さんに片手を挙げ満面の笑みで挨拶されるのが常であった。かなり難聴であったため、クラスでは集音器を着けての受講であった。時々テキストを読んでいただく、難聴による発音の乱れはあるものの大きい声でお読みになり、一段落つくと大きなため息交じりの声を発された。授業が終わり帰られる際には、必ず「ああ、今日は鍛えられて疲れた」と大きい声でおっしゃりながら、にこにこ顔で車椅子の人となり教室を後にされるのだった。またキャンパス内で女子学生たちに会うと、にこにこ何かつぶやいておられたそうである。

「依田さんがイキイキした面持ちでクラスに参加されているのは、恐

らく学生時代に戻ったような気分浸つておられるからなのでは」とは受講生仲間の一人の声である。また、「勉強が好きでたまらないのよ」という別の声もあった。受講生の中には九〇才を超えている方も何人かあり、八九才の依田さんが最高齢ではないが、まさに生涯学習の生きざまを見る思いがする。

付き添いの長女の方のお便りに、「父の棺には、やりかけだったテキスト、修了証、それにママと二人の写真を入れました」、「そしていつも通り大好きなスーツにネクタイ姿でママの所へ行きました」と書かれてあった。今ごろ依田さんは天国で、やりかけたテキストをめくりながら、あの優しい笑みを、私たちに向けてくださっていることでしょう。



学期の終わりに修了証が授与されました

楓の色づく秋から、英和について学んでみませんか？

生涯学習センター

東洋英和女学院、山梨英和学院、静岡英和女学院は、カナダ・メソジスト教会の婦人宣教師が創設した、あるいは創立に深く関わった女学校です。婦人宣教師の働きの場は「伝道・教育・幼稚園」にあり、委ねられたそれぞれの任務に忠実であったことはさまざまな資料に明らかです。

明治時代以来、キリスト教による女子教育にかかわった宣教師は、どのようなビジョンを持ち、どんな学校を作ろうとしたか。何を教えようとしたか。三英和の創立経緯はそれぞれに異なります。三英和とも創立一〇〇年を超え、今日まで、建学の理念に立つて教育の業を日々に積み重ねています。英和学とは、三英和学校創設の基から学ぶ講座です。



三英和の新旧校長(1939年)。左より山梨英和の雨宮校長、ミス・グリーンバンク、静岡英和の室田校長、ミス・カヴァンラック、東洋英和のミス・ハミルトン、小野校長
 (『山梨英和100年』より転載)

英和学入門 二〇二三年一〇月一日(火) 一五時三〇分～一七時
 二〇二三年一月二十一日(火) 一五時三〇分～一七時
 受講料：二万円(一回)
 【八月二十二日から申込受付開始】

2011年12月15日(木) LHR(ロングホームルーム)にて実施 資生堂CSR部主催 出張授業

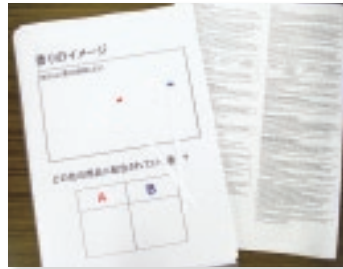
研究職の仕事を知る

～女子中高生の理系進路選択支援活動～

理科教諭・中3担当 長船 圭宏



ワークショップの様子。この香りのイメージは？



香りのワークシートと多言語による説明書のサンプル



研究員の鳴海裕子さんとの応答



研究員の土方僚子さんによる説明

化粧品研究員のお仕事

「社会とともに生きる」をテーマに、中3では進路学習が始まっていきます。職業とは何か、働くとは何かを生徒たちに考えさせていきます。その一環として

二〇一二年十二月、資生堂の若手研究員のお二人を招待し、LHR(ロングホームルーム)にてお話を伺いました。

前半は、資生堂の紹介、研究職の仕事現場の様子や仕事内容を説明していただきました。本校では理系志望といつても医歯薬系が多い傾向があります。その生徒たちにとって異分野と思われる化粧品業界も、医学の分野や医療現場にかかわっていることを知ったことは、新鮮な驚きだったようです。

商品化への過程を実感してみる

後半は、「調香師の仕事体験」と題して、生徒全員にリモネンという化粧品原料の香りを嗅いでどんなイメージが浮かぶか、どんな色を想像するか、どんな気分になるかなどをワークシートに記入したり、友人とコメントを交わしたりしながら、香りに対するイメージを考える体験をしました。商品を開発する際には、容器の色や見た目と、香りのイメージを合わせるということも重要な仕事のひとつであることを理解しました。

「何の仕事」よりも

「どのような価値観」で働くか

最後に、研究職のやりがいや苦労を例に、社会の中で生きる意義は何なのかを説明していただきました。「最初は一般化粧品が開発でしたが、治療後の傷跡を化粧品で隠す商品の開発部署に配属になり、

臨床で患者の方々に満足していただける、このような喜ばれ方もあるのかという発見があった」というお話が印象的でした。

また、研究員の方々が「これまでどのように進路を選択してきたのか」についてもお話ししていただきました。お二人とも中高生の時に、現在の会社で今のよう研究をするビジョンはなかったとおっしゃっていました。目の前にあることを精一杯に取り組むことが楽しかったようです。さらに、研究職に就いてからも現在のような部門の研究をするとは想像されていなかったようです。共通していただいたメッセージは、何事にもあきらめず真剣に取り組み続けること、それさえやっていたれば自ずと結果はついてくるということでした。

人生は選択の連続です。今回の出張授業は、理系進路を推奨するためだけののではなく、それぞれの進路選択の幅を広げるために実施しました。研究職の仕事内容や、理系進路選択の手立てを知ることもちろんですが、生徒たちには研究員の方々がどのような価値観で仕事に向き合っているのかを感じ取ってもらいたいと思います。今は何の仕事をしたという気持ちよりも、どのような価値観で仕事をするのか、社会の中で生きていくのかを考えることが進路学習の入口です。よりよい選択ができるように、日々指導してまいります。

一年間のクラブ活動の成果を発表



演劇クラブ

演劇クラブは、講堂で「シンデレラストーリーを取り戻せ！」(原作・原田裕史)を上演しました。堂々とした演技は、鑑賞する人の心を惹きつけました。

上演の部

小学部では、年度末になると一年間のクラブ活動の成果をクラブ発表週に「上演の部」「試合の部」「展示の部」に分かれて発表しています。

クラブ活動は四年生の希望者と五・六年生が参加することができます。クラブ発表は低学年の児童も見学できるため、「高学年になったらこのクラブに入りたい」と憧れの目でお姉さんを見つめる子どもたちの姿が多く見られます。六年生は、クラブ発表を最後にクラブ活動を終えることとなります。今年も最高の発表にしようと呼びかけに発表する子どもたちの姿は本当に輝いていました。

今回は、二〇一一年度のクラブ発表週の様子をご紹介します。



バドミントンクラブ



卓球クラブ



テニスクラブ



バスケットボールクラブ



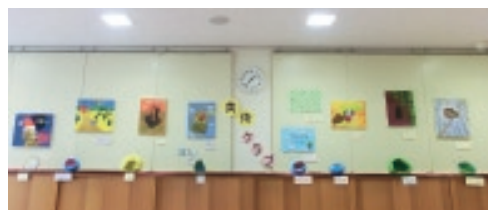
サッカークラブ



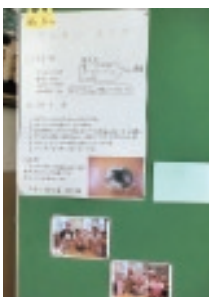
バレーボールクラブ

試合の部

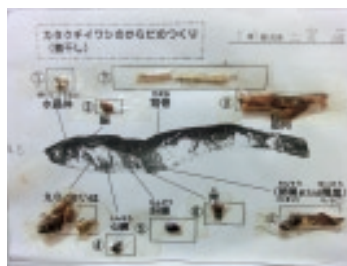
発表の最後には、先生方と六年生との試合をするクラブも多く、先生方には負けまいと応援の声にも熱が入っていました。



美術クラブ



料理クラブ



理科クラブ

展示の部

一年間の活動の紹介や作品が展示されます。料理クラブは見学した人にレシピをプレゼントしていました。



手芸クラブ



フラワーアレンジメントクラブ



レクリエーションクラブ

日本舞踊を観る会

二月一六日(木)、日本舞踊振興財団の方々による「日本舞踊を観る会」が幼稚園ホールで開催されました。今年が二十一回目になります。

子どもたちは、大きなお扇子を開いたり回したり、本物の和太鼓や三味線の奏で方を教わったり、手におしろいを塗ってもらったり、日ごろできない体験に大喜び。また、舞い手の顔作りや着付けが出来る過程を真剣に見つめていました。

いったん子どもは退場して、西川祐子氏によるレクチャーが始まりました。子どもたちには自然に、お母様方には順序を追って深く日本文化を理解してほしいという氏の思いが込められています。今年は「色」についてと長唄における「調子」についてお話しくださいました。さらに、お囃子の太鼓、鼓、笛を奏でながらの説明に皆納得。日本文化の一端を理解することができました。

鳴り物が響く中、子どもたちが再び入場し、いよいよ日舞を鑑賞する時です。演目は「晒女」です。西川氏が「強い女の子が二人の男の子をやっつける踊りです」と説明されると、「わー、怖い」「すごい」という声が上がります。「強



い女の子はいますか」の質問に、「はい」と手を挙げる子どもたち。大人は思わず吹き出してしまいました。三人の立方(舞い手)が威勢よく絡み合い、晒しがひらひら舞って、三歳児ですら一瞬も飽きることなく見入っていました。続いて和楽器の説明です。締め太鼓と篠笛でヒューウ、ドロドロ。「これは何の音」と尋ねられ、子どもの答えは意外にも「雷」。「ではこれは」と雷を表現してください、「もう一度聞いてね」と再びヒューウ、ドロドロ。やっと「お化け」という答えが返ってきました。

子どもたちが部屋に戻った後、財団の理事長・西川流宗家・人間国宝の西川扇藏氏からお話がありました。こうして播かれた種がいつか日本文化の理解へと成長してくれることでしょう。感謝です。

大学付属 かえで幼稚園

～新年度にあたって～ かえで幼稚園の子どもたちは



一心を通わせてー



一穏やかにー

一九七三年に創設されたかえで幼稚園は四〇回目の春を迎えました。草花が美しく咲く中、進級した子どもたちにとっても、入園した子どもたちにとっても、新しい生活が始まりました。

「自分らしさをもって生きる」

子どもたちは、自分らしさをもって安心して過ごす中で、物と出会い、自然と出会い、人と

出会います。たとえ一人でいてもひとりぼっちでない空間で、自ら心を動かし、知恵を働かせ、創造し、周囲とかわりながら、居たい場所・なりたいもの・やりたいことを選んで遊びます。時間をかけて遊ぶ中で、自分を表現し、願いを実現し、達成の喜びを味わいます。また、感性を豊かにするとともに、知識や技術も習得します。

そして、自分は、神と人にと愛されている存在であることを感じとります。このことは、自分を肯定して生きることにつながります。

「共に生きる」

子どもたちは、互いにかかわりながら、自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを聞きます。主張することと、ゆずることを体験します。心を響きあわせ、いっしょに創り出す喜びとともに、ぶつかりあう悲しみも感じます。なかまと保育者と共に集まって過ごすことも喜ばれます。なかまとの生活の中で自分の責任を果たそうとします。

そして、このようなことを通し、隣り人を愛し、他者と共に生きる子どもへと育っていきます。

東洋英和幼稚園

■母の会アドヴェント礼拝

12月14日(水)

全園児と保護者の方々と教職員一同でアドヴェント礼拝を守りました。御子イエス様を神様がくださったことに感謝をするとともに、特に東日本大震災で被災された方々を覚えて祈りました。

■父と子の遠足

2月4日(土)

年長組の子どもたちとお父様が横浜校地(大学)に出かけて、風揚げやオリエンテeringを楽しみました。

■卒業式

3月13日(火)

三九名の子どもたちが幼稚園を巣立っていきました。卒業証書を受け取る子どもたちの姿に、大きな成長を感じたひとときでした。



アドヴェント礼拝にて

大学付属かえで幼稚園

■クリスマス礼拝

四歳児・五歳児は、二日に

分けて縦割りクラスで礼拝を守りました。三歳児の礼拝には、五歳児有志が加わり、共にページェントをしました。

■父親保育参加

2月4日(土)

四歳児の父子が、園のいつもの環境の中で遊ぶ時と、クラスでの集いの時を楽しみました。

■教会訪問

2月14日(火)

五歳児と保護者有志がまぶね教会を訪ね礼拝しました。

■卒業式

3月16日(金)

六一名の子どもたちが、神さまと多くの方々の祝福の中で、希望をもって巣立っていきました。



卒業式にて

小学部

■むかえようクリスマス

12月10日(土)

■クリスマス礼拝

12月20日(火)

■マグノリアコンサート

1月27日(金)

■美術展

2月10日(金)～11日(土)

■授業参観日

2月15日(水)

■キリスト教講演会

2月16日(木)

「あなたは一人じゃないんだよ。」と題して、卒業生であり、日本YWCA会長の俣野尚子さんにお話をいただきました。

■「3・11をわすれないために」

3月9日(金)

■卒業式

3月14日(水)

■修業式

3月15日(木)



マグノリアコンサート

中高部

■中学部鑑賞行事

12月7日(水)

ロンドンアンサンブルのクラシックコンサート

■クリスマス礼拝

12月20日(火)

中学部は礼拝後に聖誕劇、高等部は佐々木潤牧師(武蔵野教会)からお話を伺いました。

■高3特別授業(模擬裁判)

1月24日(火)

生徒が弁護士・指導を受け、裁判官・検察官・弁護士の役になりました。

■高等部講演会

1月31日(火)

卒業生の美馬のゆりさん(はこだて未来大学教授)の講演

■高等部卒業式

3月16日(金)



模擬裁判

大学・大学院

【大学】

■クリスマス礼拝

12月19日(月)

説教：村上陽一郎学長

■大学入試

スカラシップ特別入試、大学入試センター試験利用選抜、一般人試、一般人試(後期)を行いました。

■大学卒業式

3月15日(木)

通常通りに卒業式を行いました。当たり前の行事の大切さを再認識しました。

【大学院】

■大学院入試

12月3日(土)

国際協力研究科 冬季選抜

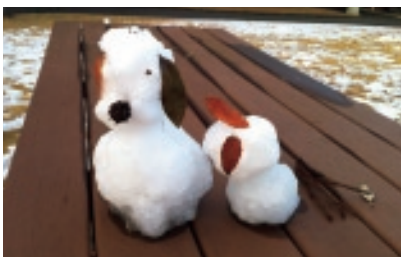
2月4日(土)・11日(土)

人間科学研究科修士課程、博士後期課程春季選抜

一次、二次

2月11日(土)

国際協力研究科 春季選抜



雪が降ると学生の作品が出現します



豊かな森の象徴トラ・ゾウを守るといふこと、生きていふこと

生物多様性を生む自然な進化のプロセスを、「止めない」、「さまたげない」こと。それが戸川久美さんの目指す野生生物保全です。大きな影響を受けた動物作家の父、戸川幸夫氏の教えと東洋英和での学びは戸川久美さんの活動にどう結びついていったのでしょうか？

インド、ケニア、西表島……、地球規模で考える野生動物保護

「えっ、とらぞう？ とらぞうさんを保護するって？」

私がかかわっているNPO法人トラ・ゾウ保護基金の名前を言うと、よく聞き返されます。

「絶滅の危機にある野生のトラやゾウを守る活動をしています」と説明して、「ああ、動物のトラとゾウですか」と納得される方も多いのですが、なぜ日本にいないトラやゾウを守る活動をしているのか、すぐには皆さん、ピンとこないようです。

人間活動の拡大で野生のトラもゾウも今、絶滅の危機にあります。トラは地球上に三二〇〇頭しか生息していません。トラやゾウが暮らしている森は、微生物から小さな草花、木の実をつける植物、昆虫へび、鳥、大きな獣に至るまで進化し続ける多様な動植物が生きる森です。豊かな森から私たち人間もさまざまな恩恵を受けています。トラやゾウはその豊かな森の象徴なのです。

私は一五年前にこの活動を始めました。日本で寄付を集めて、インドのトラとゾウ、ケニアのアフ

リカゾウ、西表島にわずか一〇〇頭しか生息していないイリオモテヤマネコの保護活動を地元の方々、現地のNGO、政府と協働して

います。一年に一回は現地を視察し、現地パートナーと打ち合わせをしてきます。三月にもゾウが生息するインド・アッサム州の森を見てきました。ゾウの通り道に村ができてしまつてゾウとのトラブルが起き始めているので、畑に電気柵をつけるなど、村人の要望を聞く話し合いに参加しました。

遠い国の話ですが、地球規模で考えないと解決できないものです。視察は私の知らない世界、人々の生活、考え方がまだ地球上にたくさんあることを気づかせ、視野を広げてくれます。いくつになつても新しいことを知るのは興味深いものです。



インド・アッサム州の村人との会合で挨拶をする筆者

動物作家だった父の思いと「敬神奉仕」

私のこの活動の原点は父にあります。私の亡くなった父、戸川幸夫は動物作家で、滅びゆく動物たちへの哀惜の情をテーマに多くの小説を書いてきました。人間の身勝手に滅ぼされていく動物たち。同じ命を受けた動物にも生きる権利があると父は書いています。「敬神奉仕」の下で相手を思いやる気持ちを育ててくださった英和の環境と父の思いとが、私をこの保護活動へと導いてくれたのだと思っています。

活動を知っていただくために、チャリティーイベントも多数行っています。そのたびに英和時代の友人や先輩、友人のお母様方も参加していただいています。また娘(李千鶴)も英和で幼稚園からお世話になりましたが、娘のお友達やそのお母さま方も支えてくださっています。困っている人(動物でも)に、自然に手を差し伸べられるのが英和生なんだといつも嬉しく思っています。

死を見つめながらも何かのために生きる

私も孫ができる年になり、死に

ついて考えるようになりました。せっかく生を受けたのだから、何かの役に立って生きた証を残したい。トラやゾウのために役立っているとはまだまだ言えないから、もっと頑張らなければ。そう思っていたとき、東洋英和の創立八〇周年で父が記念講演をした時の記録を見せていただき、はっとしました。父の講演内容は「忘れえぬ人々」というタイトルで、真の意味で「生きる」ということを語ったものでした。死刑囚が刑務所で改心し何か役立って死にたいと死刑執行の朝まで本を点字訳した話や、手術をすれば八〇％は助かると言われた父の恩師がまだやり残したことがあるからと手術を拒み、作家の仕事を終えて門下生に見守られて亡くなった話でした。私も、生命ある限り生き続けたいと思っています。

■とがわ くみ／認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金(JTEF)理事長。1997年にトラ保護基金を設立。2009年トラ・ゾウ保護基金として新たにNPO法人格を取得し、絶滅に瀕するトラ、ゾウ、イリオモテヤマネコの保全活動を行う。現地の協働パートナーと共に現地の保全対策、違法取引防止、国内での普及活動に尽力する。イリオモテヤマネコを発見した動物作家、戸川幸夫氏の次女。
<http://www.jtef.jp>

「わたしについて来たい者は、自分を捨て、

自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」

——マタイによる福音書一六章二四節

大学一年の時にキリスト者となって

から、将来、伝道者になりたいという
思いが芽生えた。並行して、哲学の学
びをずっと続けたいという望みも育っ
ていった。やがて大学四年の秋になっ
たが、いまだ哲学研究の道か伝道者の
道かを決断できないでいた。英国人宣
教師からいただいたヘンリー・マー
ティン(伝(Henry Martyn Confessor of the
Faith))を読み、すべてを捨ててインド
とペルシャへの宣教師となったその生

き方に感動したが、まだ伝道者になる
決心がつかなかった。

ある朝、いつものように聖書と祈り
の時をもっていたとき、「わたしについ
て来たい者は、自分を捨て、自分の十
字架を背負って、わたしに従いなさい」
というキリストの言葉が、圧倒的に心
に迫ってきた。本気で「主よ、従います」
と応答した。

本学国際社会学部教授 大学宗教主任

三上章



大学 チャペルの十字架

広報委員会より
学院報「**楓園**」

ここが新しく
なります

● 楓園の発行は年3回に

発行回数は今まで年4回でしたが、68号から5月、9月、1月の年3回に変わります。そのうち9月号と1月号が「東洋英和楓の会」による同窓生全員への無料配布号となります。同窓生の定期購読制度はそのまま継続して行っています。

● 北崎勝彦先生による連載 「英和☆星空探訪」スタート

中学部教頭の北崎先生は知人ぞ知る天文通、ご自宅には天文台もお持ちです(ちなみに先生は社会科の先生です)。無限に広がる天文の世界を楽しくご紹介していきます。

— 学院刊行物 新刊のご案内 —

『カナダ婦人宣教師物語』英訳本
Canadian Woman Missionaries
at Toyo Eiwa in Japan
1882-2006

(1冊2,000円で販売しております)

お問い合わせ先: 史料室
TEL: 03-3583-3166



史料室レター No.7

ミス・カートメルの ロッキングチェアを展示しています!



晩年の
ミス・カートメル



ミス・カートメルの
ロッキングチェア

ただ今、本部・大学院棟一階の史料展示コーナーでは、昨秋カナダのブルム夫妻より寄贈を受けたミス・カートメルのロッキングチェアを公開しています。藤色の布張りの小ぶりの揺り椅子で、ミス・カートメルが晩年に愛用なさっていたものです。

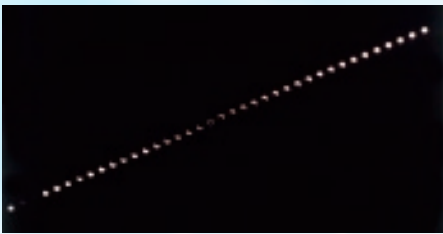
史料室連絡先 ● TEL: 03-3583-3166 FAX: 03-3583-3329 E-mail: archive@toyoeiwa.ac.jp

2012年度 行事予定

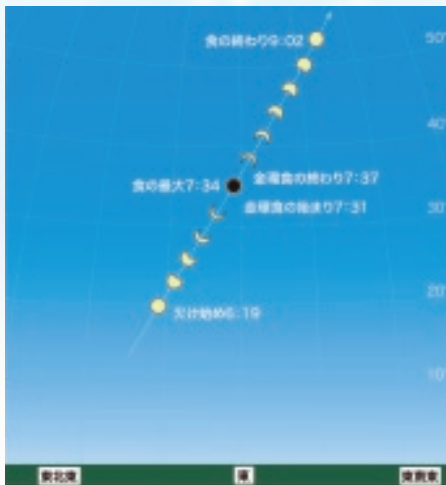
小学部		東洋英和幼稚園		大学付属かえで幼稚園	
4月	6日(金) 始業式 10日(火) 入学式 11日(水) イースター礼拝 * 春の健康診断	4月	10日(火) 始業礼拝 13日(金) 入園式 * 春の健康診断	4月	9日(月) 始業礼拝(進級児) 在園児・小学生イースター礼拝 10日(火) 新入園児始業 12日(木) 入園式 26日(木) 園外保育(4歳児)
5月	2日(水) 春の遠足 9日(水)、10日(木) 授業参観日 12日(土) 学校説明会① 26日(土) 運動会	5月	2日(水) 新入園母子歓迎会 24日(木) はみがき指導	5月	7日(月) 母の日礼拝 10日(木) 園外保育(5歳児) * 園外保育(3歳児) 12日(土) ワークI 17日(木) 健康診断
6月	1日(金) ペンテコステ礼拝 13日(水) オープンスクール 19日(火) 鑑賞の日 20日(水) 1、6年歯磨き指導 28日(木) 学校説明会② 30日(土) 土曜参観日	6月	2日(土) 父母の会 7日(木) 母と子の遠足 22日(金) いちようの木献金セール	6月	21日(木) 歯科検診 23日(土) ワークII
7月	夏期学校〔軽井沢追分〕 13日(金)～15日(日) 1年1組 17日(火)～19日(木) 1年2組 19日(木)～21日(土) 2年1組、6年1組 21日(土)～23日(月) 2年2組、6年2組 23日(月)～25日(水) 3年1組・2組 25日(水)～27日(金) 4年1組・2組 27日(金)～30日(月) 5年1組・2組	7月	3日(火)～5日(木) キャンプ(5歳児)〔軽井沢追分〕 12日(木) 終業礼拝 14日(土) 入園説明会① 16日(月・祝) 入園説明会②	7月	13日(金) たのしみ会(3歳児) 17日(火) 終業礼拝(4、5歳児) 18日(水) 夕涼み会
9月	5日(水) コース別集団下校訓練 13日(木) 入試説明会 21日(金) 秋の遠足(1～5年) 25日(火)～28日(金) 6年修学旅行	9月	5日(水) 始業礼拝 28日(金) 祖父母の会	9月	6日(木) 始業礼拝(4、5歳児) 7日(金) 始業礼拝(3歳児) 22日(土・祝) ワークIII 29日(土) 入園説明会①
10月	1日(月) 追悼記念日礼拝 5日(金) 前期終業式 9日(火) 後期始業式 11日(木)～17日(水) 球技会週 25日(木) 児童引取り・徒歩帰宅訓練 * 秋の健康診断	10月	1日(月) 追悼記念日礼拝 13日(土) 父と遊ぶ日(3、4歳児) 23日(火)～26日(金) 入園考査 * 秋の健康診断	10月	1日(月) 追悼記念日礼拝 13日(土) ファミリーデー(4、5歳児) 〔大学校地〕 15日(月) オープンデー(3歳児) 24日(水) 入園説明会②
11月	2日(金) 入学考査 6日(火) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 30日(金) 学芸会	11月	6日(火) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 9日(金) りんご園遠足(5歳児) 〔長野県上田市〕	11月	1日(木) 入園願書受付 2日(金) 芋ほり(4、5歳児) 6日(火) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝・音楽会 10日(土) ワークIV 26日(月) アドヴェント礼拝I
12月	3日(月) アドヴェントを迎える会 15日(土) むかえようクリスマス 19日(水) クリスマス礼拝	12月	5日(水) 母の会アドヴェント礼拝 14日(金) アドヴェント終業礼拝	12月	3日(月) アドヴェント礼拝II 10日(月) アドヴェント礼拝III 17日(月) クリスマス礼拝(3歳児) 18日(火)、19日(水) クリスマス礼拝(4、5歳児) 21日(金) 小学生クリスマス礼拝
1月	25日(金) マグノリアコンサート	1月	9日(水) 始業礼拝 * おもちつき * ACEF訪問(5歳児)	1月	9日(水) 始業礼拝(4、5歳児) 10日(木) 始業礼拝(3歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	8日(金)、9日(土) 美術展 9日(土) 親子討論会 きらきらコンサート 15日(金) 授業参観日 19日(火)～22日(金) クラブ発表週	2月	2日(土) 父と子の遠足(5歳児) 18日(月) 日本舞踊を観る会	2月	2日(土) 父親保育参加(4歳児) 21日(木) 卒業遠足(5歳児) 23日(土) 人形劇 * 小学校訪問(5歳児)
3月	14日(木) 卒業式 15日(金) 修業式	3月	* お別れ会 * 課外日舞おさらい会 * 課外ピアノ科おさらい会 12日(火) 終業礼拝 13日(水) 卒業式	3月	* 園外保育(4歳児) 15日(金) 卒業式 16日(土) お別れ会 18日(月) 終業礼拝(3、4歳児)

*印は日程が未定(2012年3月31日現在)

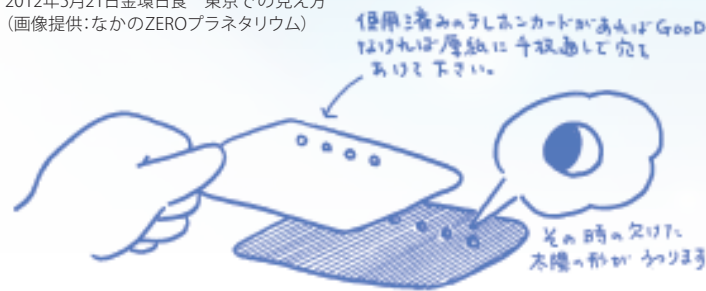
大学院		大学		中高部	
4月	7日(土) 入学式・オリエンテーション 21日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2012年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日(2013年3月修了見込者) 28日(土) 健康診断	4月	3日(火) 入学式 2日(月)~7日(土) 学内オリエンテーション 21日(土) プレイデー	4月	6日(金) 中学部入学式 9日(月) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 10日(火) 健康診断I(中1・高1) 21日(土) 授業公開日・母の会総会 25日(水) 健康診断II(全年学)
5月	26日(土) 入試説明・相談会(両研究科)	5月	18日(金)~19日(土) 1年生オリエンテーション合宿	5月	14日(月)~18日(金) 中1オリエンテーション前後期(軽井沢追分) 高2修学旅行(阿蘇・雲仙・長崎) 16日(水)~18日(金) 高3修養会(天城) 16日(水) 中2~高1学年行事
6月	28日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2012年9月修了見込者)	6月	2日(土) 東京女子大学スポーツ交流会 16日(土) オープンキャンパス 30日(土) 保護者と教職員との懇談会	6月	5日(火)~8日(金) I学期中間試験 8日(金) 中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問 21日(木)~22日(金) 高1カンファレンス 29日(金) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部) 30日(土) オープンスクール
7月	7日(土) 休講(2012年度修士課程後期入学試験) 21日(土) 入試説明・相談会(両研究科)	7月	28日(土) オープンキャンパス	7月	20日(金)~8月10日(金) 語学研修[カナダ] 21日(土)~23日(月) オープニングキャンプ(野尻) 24日(火)~31日(火) 中2夏期学校前後期(野尻) 31日(火)~8月3日(金) 訓練キャンプ(野尻)
9月	8日(土) 2012年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験 人間科学研究科修士課程 2013年度前期(秋季選抜)一次試験 国際協力研究科修士課程 2013年度前期(秋季選抜)試験 17日(月・祝) 人間科学研究科修士課程 2013年度前期(秋季選抜)二次試験 22日(土・祝) 学位授与式/ 入学式・オリエンテーション	8月	19日(日) オープンキャンパス 25日(土) オープンキャンパス	8月	3日(金)~8日(水) キャンプ(野尻) * 夏期修養会
10月	1日(月) 追悼記念日礼拝 20日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2013年3月修了見込者) 入試説明・相談会(国際協力研究科のみ) 博士論文提出締切日(2013年3月修了見込者)	9月	16日(日) オープンキャンパス	9月	8日(土) 第1回学校説明会 19日(水)~25日(火) I学期期末試験
11月	6日(火) 学院創立記念日 17日(土) 入試説明・相談会(人間科学研究科のみ)	10月	1日(月) 追悼記念日礼拝 28日(日) 公募制推薦入試 同窓生子女枠特別推薦入試 一般・社会人編入試、社会人入試	10月	1日(月) 追悼記念日礼拝 4日(木) II学期始業礼拝 6日(土) 体育祭 19日(金)、20日(土) 楓祭
12月	1日(土) 国際協力研究科修士課程 2013年度前期(冬季選抜)試験 13日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2013年3月修了見込者)	11月	2日(金)~3日(土・祝) かえで祭 6日(火) 学院創立記念日 * チャペルコンサート * 収穫祭 28日(水) アドヴェント夕礼拝 * 清楓会クリスマスパーティー	11月	5日(月)~9日(金) 創立記念特別週間 6日(火) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 7日(水)~13日(火) 授業公開日・美術展 10日(土) 第2回学校説明会 22日(木) 球技会(中学部)
2月	2日(土) 人間科学研究科 2013年度前期(春季選抜)一次試験 9日(土) 人間科学研究科 2013年度前期(春季選抜)二次試験 国際協力研究科 2013年度前期(春季選抜)試験	12月	15日(土) スカラシップ特別入試 17日(月) クリスマス礼拝	12月	1日(土) 入試問題説明会 3日(月)~7日(金) II学期中間試験/高3期末試験 7日(金) 中学部鑑賞行事 8日(土) クリスマス音楽会 20日(木) クリスマス礼拝
3月	2日(土) 2013年度前期科目等履修生・プログラム履修生試験 16日(土) 学位授与式	1月	12日(土) 院内推薦入試、外国人留学生入試 19日(土)、20日(日) 大学入試センター試験 31日(木) 一般入試	2月	1日(金) 入学試験A日程 4日(月) 入学試験B日程
		2月	26日(火) 一般入試(後期)	3月	1日(金)~7日(木) II学期期末試験 14日(木) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 高等部卒業礼拝 15日(金) 高等部卒業式 18日(月) 高等部卒業式 20日(水・祝)~4月3日(水) 春期語学研修[アメリカ] 20日(水・祝)~23日(土) スキー教室[志賀高原] 聖書科学習旅行[沖縄]
		3月	8日(金) 卒業礼拝 14日(木) 卒業式		
全学院					
4月	2日(月) 新任者辞令交付式 13日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会	11月	6日(火) 学院創立記念日 永年勤続者表彰式 7日(水) カナダ宣教師墓前礼拝 17日(土) 楓の会 秋の文化公演・役員総会 * ハンドベルフェスティバル	2月	1日(金) 入学試験A日程 4日(月) 入学試験B日程
6月	1日(金) 後援会・母の会・学院懇談会 9日(土) 楓の会 春の講演会	12月	7日(金) 全学院クリスマス礼拝	3月	1日(金)~7日(木) II学期期末試験 14日(木) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 高等部卒業礼拝 15日(金) 高等部卒業式 18日(月) 高等部卒業式 20日(水・祝)~4月3日(水) 春期語学研修[アメリカ] 20日(水・祝)~23日(土) スキー教室[志賀高原] 聖書科学習旅行[沖縄]
7月	6日(金) 後援会常任役員会/役員会/総会 14日(土) 三英和懇談会 [於:東洋英和女学院大学]	3月	1日(金) 後援会常任役員会/ 後援会・母の会・学院懇談会 22日(金) 退職者辞令交付式・送別会		
10月	1日(月) 追悼記念日礼拝 5日(金) 後援会役員懇談会				



1987年沖縄金環日食連続写真(撮影：弘中良平)



2012年5月21日金環日食 東京での見え方 (画像提供：なかのZEROプラネタリウム)



金環日食

五月二十一日(月)に、今年一番の天文現象と言ってもよい「金環日食」が太平洋側で起こります。一般的に日食といえど、月が太陽を隠し、真っ黒な太陽の周りに普段は見ることができない美しいコロナが現れる「皆既日食」を思い浮かべます。この現象は、太陽の直径が月の約四〇〇倍。そして地球から太陽までの距離が月の約四〇〇倍のため、太陽と月の見かけの大きさがちょうど同じになるために起こります。偶然が生んだ素晴らしい現象は、身震いさせるほど美しく、超越した力を感じさせます。残念ながら今回の日食は月が少し遠いところにあるため、太陽が月のまわりにぐるりと指輪のように、はみ出してしまいます……。これが金環日食です。

さて、今回の金環日食は、早朝、東の空で見ることが出来ます。東京では太陽の直径の約九七%が月によって隠されます。しかし太陽の光は残りの三%だけでも非常にまぶしく肉眼で見ることが出来ません。金環状になった太陽を観察するためには「日食グラス」が必要です。ご注意ください。

日食グラスが手元になければ、小さな穴を開けた厚紙などで観察をすることが出来ます。厚紙の穴を通った光を紙などに映すと、ピンホールカメラの原理で欠けた太陽の形が映ります。小さな穴を開けた厚紙がない場合は、地面に写った木漏れ日を見てください。小さな無数のリングが見えると思います。

お知らせ

東洋英和楓の会 主催

羽生善治氏 講演会のご案内

中学部在校生のお父様であり、棋士の羽生善治氏に、「決断力を磨く」と題し、お話しいただきます。



日時：6月9日(土)
14:00開演(13:30受付開始)
場所：中高部
新マーガレット・クレイグ記念講堂
演題：「決断力を磨く」

【申込期間】4月2日(月)～5月31日(木)

【申込方法】下記事項を明記の上、メールにてお申し込みください。なお、電話・FAXでのお申し込みも受け付けます。

●名前 ●電話番号 ●学院とのお関係 ●人数

【問い合わせ先】kaedenokai@toyoeiwa.ac.jp

TEL:03-3583-3354 FAX:03-3584-5227

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

なお、お断りする方のみ事務局から連絡させていただきます。

東洋英和女学院 学院報 楓園 第68号

発行日：2012年5月16日

編集：広報委員会

発行：学校法人 東洋英和女学院

東京都港区六本木 5-14-40 Tel:03-3583-3325

メールアドレス：koho@toyoeiwa.ac.jp

ホームページ：http://www.toyoeiwa.ac.jp

同窓会より

■新入会員のご紹介

東光会(高等部同窓会) 179名/楓美会(大学同窓会) 560名/大学院同窓会 21名
ご卒業おめでとうでございます。同窓会ご入会を心より歓迎いたします。

■同窓会総会のご案内

一年に一度卒業時の思いに立ち返り、懐かしい再会を楽しむ総会の季節が参ります。この一年は特に深い感慨を持って過ごされた方も多いことと存じます。変わらぬ母校に集える幸いを感謝して総会のご案内を申し上げます。

初夏のけやきが美しい六本木校地で午前中は卒業時の所属会の同窓会総会を各会場で行い、午後は中高部新マーガレット・クレイグ記念講堂に全会が集合し学院標語「敬神奉仕」の額の下、同窓の思いを一つに東洋英和女学院同窓会総会を開きます。

今年は議事終了後の講演会に日本YWCA会長の保野尚子氏(高等部1986年卒)をお招きして「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣く」と題してお話を伺います。YWCAでのお働きと福島への支援コンサートで演奏されたフルートも聞かせてくださいます。

皆様、是非ご出席をご予定ください。

東洋英和女学院同窓会総会

日時：6月2日(土) 13:10より

会場：新マーガレット・クレイグ記念講堂(六本木校地)

総会議事：前年度行事報告・決算報告・監査報告・今年度行事案・予算案・新役員人事承認
来賓挨拶：池田守理理事長・院長

講演会「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣く」 保野尚子 日本YWCA会長(東1986)

※保野氏にはフルート演奏もしていただきます

終了後、集會室にてお茶の会・ミニバザー(15:45終了予定)

各同窓会総会

保育部会(短期大学保育科)	10:30	中高部 小講堂
かえで会(短期大学英文科)	11:15	中高部 集會室
楓美会(大学)	11:30	本部・大学院棟
東光会(高等部)	12:30	中高部 小講堂
楓雅会(短期大学国際教養科)	12:30	中高部 集會室
大学院同窓会	12:30	本部・大学院棟